

対象年度	令和 6年度	総合計画実施計画策定及び行政評価シート
------	--------	----------------------------

事務事業名	結城廃寺跡整備事業				予算事業名	結城廃寺跡整備事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	文化財保護法、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律
			10	05	06	21	経常経費		

総合計画体系	未来を担う子どもと 生き生きとした市民を育む地域を目指そう 生涯学習環境の充実と市民が誇れる芸術文化の創造 郷土の文化財の保存と活用					事業の区分	主要事業			
						担当課係等	生涯学習課 文化係			
事業期間	継続 (年度～ 年度)									

【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】	【事業開始のきっかけや他市の状況など】
国指定を受けた史跡の公有化により、史跡を将来に向けて安定的に保存していく。史跡公園として整備し、本市の歴史教育や観光事業に寄与するとともに、市民の憩いの場として利用できる拠点施設を形成する。	結城廃寺跡の全容を解明するための、昭和63年度に発掘調査に着手。平成14年度に国指定史跡に指定され、将来、史跡公園として保存活用を図るため、平成20年度から指定区域の公有化に着手した。

【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】	【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】
<ul style="list-style-type: none"> ○遺跡整備に向けた各種計画の策定 ・保存整備委員会を開催し、各種計画の内容を検討する。 ・保存活用計画 (令和2年度策定)、整備基本計画 (令和4年度策定)、史跡整備基本計画・実施計画を策定する。 ○整備区域内の発掘調査等の実施 ・史跡整備等に伴う発掘調査を実施する。 ○史跡公園として整備 ○史跡の維持・管理 ・史跡が整備されるまでの間、除草作業等の維持管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定史跡結城廃寺跡附八幡瓦窯跡
	【事業をとりまく環境の変化】
	平成29年度に国史跡として追加指定された2筆 (1913.89㎡) の公有化を30年度に実施し、30年度をもって、公有化事業が完了し、令和2年度に保存活用計画、令和4年度に整備基本計画を策定した。今後も定期的に保存整備委員会を開催し、史跡整備についての協議を行う。また、令和4年度から発掘調査を実施している。

【令和6年度 事業内容】	【令和7年度 事業内容】	【令和8年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> ○史跡の維持管理 ○保存整備委員会開催(1回) ○史跡整備に係る発掘調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○史跡の維持管理 ○保存整備委員会開催(1回) ○史跡整備に係る遺物整理の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○史跡の維持管理 ○保存整備委員会開催(1回) ○史跡整備に係る遺物整理、基本設計 (結城廃寺跡指定地内)、指定地外の土地買収の実施

■事業費

		R04年度	R05年度			
財源内訳	国庫支出金	6,092	3,411			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	9,045	8,081			
歳入計 (千円)		15,137	11,492			
歳出内訳	節 (番号 + 名称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	01 報酬	39	18			
	07 報償費	292	1,200			
	08 旅費	259	224			
	10 需用費	550	1,636			
	11 役務費	13	60			
	12 委託料	11,784	6,138			
	13 使用料及び賃借料	796	836			
	14 工事請負費	1,265	1,320			
	17 備品購入費	99	0			
18 負担金補助及び交付金	40	60				
歳出計 (千円) (A)		15,137	11,492			
伸び率 (%)			-24.08			

備考	
----	--

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標	保存整備委員会の開催	回	目標	4.00	1.00	1.00
	史跡公園として整備するにあたり、整備方法や展示方法の協議を行う。		実績	3.00	0.00	0.00
	発掘調査の実施	m ²	目標	400.00	275.00	500.00
	これまで未解明であった伽藍建物跡等を検出するために発掘調査を実施する。		実績	447.00	0.00	0.00
成果 指標	発掘調査報告書の刊行	冊	目標	0.00	1.00	1.00
	発掘調査の成果を、調査報告書として刊行する。		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	史跡を将来にわたり、安定的に保存していくために、公有化は最も適切な方法である。また、今後、史跡を活用していくためには、史跡公園として整備、公開していくことが最も有効な方法である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	国指定史跡の保存活用は、行政が責任をもって行う事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	史跡整備のための各種計画の策定は、国で定められている。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	史跡整備方法の検討は、職員が主体となって実施している。また、史跡整備に向けた発掘調査についても、一部、大学と連携して実施するなど、調査費の削減に努めている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	史跡を保存、伝承し、活用していくことは、本市のみならず、地域や国全体にとっても有益である。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	史跡の公有化は完了したが、史跡公園として整備が完了するには、まだ期間を要するため、その期間を短縮していくことが課題である。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	史跡整備に向けて、令和4年度に整備基本計画を策定し、また、整備に向けた発掘調査に着手するなど、事業は計画通りに進捗している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
史跡整備は令和14年度に完了し、史跡公園としてオープンする計画であるが、それまでには期間を要することや、史跡整備に対する費用も多額になることが想定される。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
できるだけ整備期間の短縮を図りながら、各種補助金を導入して、市の財政負担の軽減を図っていく。また、整備方法についても、できる限り、維持管理費がかからない整備方法を検討していく。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
方向性の具体的内容	
導入可能な文化庁以外の補助事業を調査検討し、市財政負担の軽減を図りながら、整備基本計画に基づき、史跡公園としての整備及びガイダンス施設・駐車場のための指定区域外の土地の公有化等を実施していく。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）	
財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。	